地域とのふれあいを大切にします

はぐくみ

7
2026
Vol.145

特集

- 第24回通常総代会開催
- 令和7年度事業報告・令和8年度事業計画
- 令和7年度準組合員モニター制度活動報告

表紙の農産物

藤稔

管内ニュース&
女性会活動の動画が
ご覧いただけます

P.10
P.16

をチェック!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JA大阪中河内

Instagram LINE

藤稔

生産者紹介



髙井 優（たかい まさる）さん【柏原地区】



今回は柏原市でぶどう栽培に携わる髙井さんの畑にお伺いしました。髙井さんは約7アールの畑で、ベリーA、藤稔、ピオーネ、巨峰、シャインマスカットなどの中・大粒ぶどうを栽培されています。その髙井さんに、ぶどう作りにかける思いをお聞きしました。

＊　＊　＊

ぶどう作りを始めたきっかけは何ですか？

実家が専業農家で、父、祖父の代からぶどう作りを行っていました。当時は出荷用としてデラウェア、本ぶどう、ベリーAを栽培しており、かつてはどの農家もぶどうを木箱に入れて出荷していたので、小学生の頃から出荷用の木箱作りやジベレリン処理、草刈りなどの手伝いをしていました。

その後祖父と父は出荷から観光ぶどうにシフトし、私はJAに就職。農繁期は作業を手伝ったりしていましたが、祖父、父が亡くなり、畑を継ぐことになりました。畑を継いでからは、世の中のニーズに合わせたぶどう作りに注力したいと思い、観光ぶどうをやめて大粒ぶどうを栽培・出荷するようになりました。

↓髙井さんの農産物はこちらで購入できます↓



『畑のつづき 天美店』
松原市天美南3-13-15
☎072-349-6760



『畑のつづき 松原店』
松原市上田5-10-35
☎072-290-7091



『畑のつづき 柏原店』
柏原市大県1-5-3（ヤマニシデンキビル1階）
☎072-943-0313



『畑のつづき 龍華店』
八尾市東太子2-1-18
☎072-920-4401

7 はぐくみ
2026 Vol.145

CONTENTS

02 生産者さんのご紹介
04 第24回通常総代会開催
06 令和7年度事業報告・令和8年度事業計画
10 N&T
13 令和7年度准組合員モニター制度活動報告
16 ほほえみ ～女性会活動ご紹介～
18 おたより紹介 ～読者さん投稿ご紹介～
20 まちの笑顔 ～組合員さんのご紹介～
21 基礎から学ぶ野菜作り教室
22 年金よろず相談室
23 令和8年度各協力組織役員
24 まち・ひと・きらり 地域貢献活動・社会貢献活動 第4四半期MVP部門賞 受賞者発表
25 おしらせ
26 イベントカレンダー
27 管内の魅力的なスポットを訪ねて

ＪＡ大阪中河内の概要

令和８年５月末実績

■組合員数	45,590人
	（正） 3,965人
	（准） 41,625人
■貯金残高	6,338億786万円
■貸出金残高	1,289億4,927万円
■長期共済保有高	9,187億2,071万円
■購買品取扱高	7,619万円







ぶどう作りで大変なことは何ですか？

ぶどうの無核化（種なしにする）や成長のために行うジベレリン処理が大変ですね。一房ずつ行わないといけないことや、処理を行うタイミングがシビアで、必要な時期より早くても遅くても効果が表れなかったり、雨によって処理薬剤が流れてしまったりするので、時期や天候の制約がある中で全ての房に行わなければならず、非常に手のかかる作業です。

また房が成長すると、房の中側にあった実が大きくなって他の実を押しのけ、実が割れたり形が悪くなったりしてしまうので、それを防ぐためにあらかじめ実を減らす「粒間引き」を一房ずつ行わなければならず、毎年手を焼いています。

よりよいぶどう作りのために工夫していることはありますか？

〝一つのつるに一房〟を守って育てています。多くの房をならせると、果実へ栄養が行き渡らず、味が落ちてしまったり着色が悪くなったりするためです。しかし栽培を続けていると、育ちのいい房が一つのつるにいくつもできることがよくあります。作り手としては多くの房を育てたい気持ちなので、どれかを選ばなければならないのはとても心苦しいのですが、断腸の思いで房を絞り、たくさんの栄養が一つの房に凝縮した甘くておいしいぶどうが育つようにしています。

ぶどうは、手をかければかけるほど必ずいいものができます。それを実感できるので、「次はもっとやろう」という気持ちになります。直売所に出荷をはじめて10年になりますが、お客さんの中には私の名前を見て毎年買ってくださる方もいらっしゃいます。おいしいと思ってもらえると「手をかけただけあった」という気持ちになり、次のぶどう作りの原動力となっています。

地域の様々な役回りも引き受け、〝地元の要〟というべき存在にもなっている髙井さん。5人のお孫さんは髙井さんのぶどうの一番のファンです。「これからは体力の続く限り続けていきたい」と笑顔を見せる髙井さんが育てる甘くてみずみずしいぶどうを、皆さんもぜひ食べてみてください。

教えてあぐりん！

知っておきたいぶどうの豆知識



皮の白い粉は新鮮な証！

ぶどうの皮に白い粉がついていることがあります。これはブルームといい、実の表面を保護するためにつくもので、これが付いているものほど新鮮なぶどうです。

ぶどうは下から食べよう！

ぶどうはつるから養分がはこばれてくるので、つるに近い房の上部（肩）がもっとも甘くなります。そのため、房の下の実から順に食べると最後までおいしく楽しめます。

いろんな品種を食べ比べてみよう！



第24回 通常総代会開催







6月27日、第24回通常総代会を本店で開きました。有効総代数506人のうち、490人（本人出席102人、書面議決388人）の方々にご出席いただきました。上程された第1号議案から第3号議案、附帯決議案が慎重に審議され、全て原案通りに可決承認されました。

決　議　事　項

第１号議案

令和7年度事業報告及び剰余金の処分の件

第２号議案

令和8年度事業計画設定の件

第３号議案

理事及び監事報酬決定の件

附帯決議案

この総代会で行った決議及び諸手続上の字句並びに軽微な事項について、行政庁の指示を受けたときは、これに基づく修正を理事会にご一任いただきたいと存じます。

通常総代会でいただいたご意見・ご質問（要約）

質問 昨年議論された12JAの合併問題について、最終的に合併に参加しないことが決議されたかと思いますが、合併をしなかったことは結果的に良かったのか悪かったのか、どのようにお考えでしょうか。

回答 当JAが離脱した理由は、組合員に対するメリット・デメリット、合併による課題等の議論が不十分な中、合併から離脱すると違約金が発生する条件があることで合併への納得感が全く得られなかったためであり、現時点では離脱して良かったと判断しています。ただし新たな枠組での合併については今後も議論が必要ですので、今回の件を活かし必要に応じ組合員・総代の皆様へ進捗状況を報告の上進められればと思います。

質問 役職員のエンゲージメントはどのように取り組まれているのでしょうか。福利厚生や給与面も含めてやりがいがあり、離職者が出ないJAにしていくべきではないかと思います。

回答 令和7年8月より、選抜職員によるエンゲージメント向上プロジェクトを立ち上げ、職場環境の改善を進めています。また離職防止対策として時間外労働抑制、役員による職員への面談を通じた職場実態の把握と改善に取り組むとともに、新採用・中途採用募集を恒常的に実施しています。

質問 役員報酬増額に至った理由をお聞かせください。

回答 役員報酬は11年間据え置きとなっており、それによって①職員の最高位年俸と常勤役員の年俸が接近していることによる職員のモチベーション低下への対応②物価上昇率が15%、大阪府の最低賃金が40%上昇している現状に沿った報酬への見直し③大阪府下JAの規模感に応じた報酬への見直しが必要となったことが主な理由です。

第24回通常総代会開催にあたってのご挨拶

平素は当組合の事業運営等にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。お陰をもちまして令和７年度の経常利益は１２億４千万円となり計画を上回る数値となりました。これもひとえに、組合員の皆様方のご理解ご支援の賜物と、役職員を代表致しまして重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年度より中東地域での紛争でインフレ圧力となるホルムズ海峡が事実上約４か月間封鎖され、現在は停戦合意により再開へ向かっていますが、この間、原油が輸入できない状況となり、ナフサなども精製できずプラスチック製品、合成ゴム、合成繊維、そして我々の命にかかわる医療器具など国内の各業界に多大な影響を与えています。特に当組合の営農経済部門については、農機具のエンジンオイルやビニール製品、資機材等が品薄となり、価格が高騰しています。肥料についても原料を海外に依存しているため、円安並びにロシア・ウクライナ情勢以降価格の高止まりが続いています。

また、２０２６年秋の新米買い取り価格については、７月・８月の市場の販売価格と買取り価格の情勢を考慮し、慎重に適正な価格を決めさせていただきたいと考えています。

信用部門については、２０２４年３月に日銀が８年２か月ぶりにマイナス金利政策を解除し、２００７年２月以来約１７年ぶりに政策金利が引き上げられた以降、６月中頃には政策金利が１％と１９９５年以来３１年ぶりの水準になり、急激な金利上昇の環境のもと多くの金融機関にも広く影響が及んでいます。そして、全国の JA や金融機関・保険会社等の大半が同様に保有している有価証券が下落し、各金融機関等は国内外を問わず情勢変化を注視し対応することが迫られています。皆さんもご承知のとおり、有価証券については金利が上がれば価値が下がります。逆に金利が下がれば価値は上がります。

特に当組合が保有している有価証券のなかの受益証券、３０年国債について現在の状況を報告させていただきます。

大阪府内の各 JA は、組合員の皆様や地域のご利用者様からお預りした貯金の大半を JA バンク大阪信連に預けるシステムになっています。当時の金利がマイナス金利政策の影響で低く、JA バンク大阪信連に預ければ現在の状況と変わらない同等くらいの金利を受け取ることができましたが、昨年までは預ける上限が決められており、上限をこえた部分については受け取り金利が抑えられていたので自主運用を求められる状況となり、当組合としましては、収益確保を目的に比較的高い受取利息が得られる受益証券を購入しました。当組合が保有の受益証券とは国債を組み込んだ商品で運用している投資信託のことです。ただし、一般の有価証券同様に金利が上がると価格が下がりやすい特徴があります。損失拡大を避けるため、昨年度と今年度既に一部を売却し、その資金をリスクの低い５年国債へ再投資することで、リスクの低減に努めています。次に３０年国債についてですが、この商品も金利の影響を受けやすく、最近の金利上昇で価値が下がっています。ただし、これはあくまで「いま現在売却した場合の価格」であり、国債は満期まで保有していれば毎年決められた利息を受け取り最終的には額面どおり元金は戻る債券です。ただ一方で会計上のルールにより、決算時の時点で額面の５０％以上下落した場合、下落した額を減損（いわゆる損失処理）しなければなりません。この減損処理を行いますと決算上は利益が減少しますが、資金が失われるわけではありませんし、債券そのものの元本が失われるわけでもありません。ただし、満期時が２０５０年以降の国債を一部保有していますので、今後満期が来る二十数年の間に当組合が他の農協と合併する可能性も高く、後世にこの件を先送りするのか、状況によってはリスクのある債券を売却して清算するべきか、十二分に検討し対応する必要があります。他には社債も保有していますが、現在は大きな問題とはなっていません。そして何より当組合では合併以降、過去の先輩役員の方々により、信用事業に影響を及ぼす状況が発生する場合を想定し、信用事業基盤強化積立金を含む利益剰余金を積み立てていますので、決して経営基盤が揺らぐものではありません。今後も適切なリスク管理のもと、組合財務の健全性を維持しながら運用を進めてまいりますので、皆さまには、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、共済事業については順調に推移しています。

そして職員の雇用については世間同様人手不足の問題も抱えていますが、まずは当組合が魅力あり働き甲斐のある、地域から信頼され必要とされる組織になるために、役職員のエンゲージメント向上にも取り組んでいます。

これからも、常に世の中の情勢・変化に対応できるような組織基盤の強化に向け一丸となって取り組んでまいる所存ですので、今後とも組合員の皆様の多大なるご理解とご協力をお願い致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

JA 大阪中河内
代表理事組合長
畑中　正史



令和７年度事業報告・令和８年度事業計画

令和７年度事業報告

令和7年度は、「持続可能な大阪農業の振興」「協同活動・JA事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現」「活動と事業の好循環による価値提供を支える健全・強固な経営基盤の確立」「協同組合らしい人づくり」「広報活動の強化によるJAの魅力発信」の5つの柱を基本方針とした新たな中期（3カ年）計画の初年度にあたり、「協同活動と総合事業の好循環」を通じて組合員・利用者の目線に立った事業を展開しました。

令和7年12月の日本銀行による追加利上げに伴い金融機関間の競争が激化する中、貯金獲得に向けた各種キャンペーンの実施に加え、財産診断や資産形成などの各種相談業務を軸とする組合員・利用者本位の推進活動を展開した結果、計画を上回る利益を確保し、自己資本比率は15.67%と前年度より向上しました。組合員・地域の皆様方のご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
経常利益	1,674百万円	1,312百万円	1,240百万円
当期剰余金	1,241百万円	1,040百万円	895百万円
純資産額	32,176百万円	32,303百万円	32,433百万円
自己資本比率	13.47%	15.05%	15.67%

指導事業

農業塾、無料職業紹介事業、農地マッチング、農業用機械レンタル事業を通じて、地域農業の持続性確保に取り組みました。TAC活動では農業者から問題点やニーズを聞き取り、個別課題の解消に努めました。また組合員、地域の皆さまに日頃の感謝をこめて各地区でJAまつりを開催しました。食農教育活動では、管内の子どもたちを対象に稲作や野菜作りの体験学習を実施しました。女性会組織では157件の活動が行われ、第11期女性大学「あぐりんレディ倶楽部」を松原・長瀬の2地区で開講しました。第67回全国家の光大会では昨年に引き続き「家の光特別高率普及実績表彰」を受賞しました。宅地等供給事業では全農・ハウスメーカーと連携し、系統施行による賃貸住宅等の提案に努めました。

購買事業

生産資材における重要推奨品目について、一括入荷や商系業者を通じて安価供給に努めました。また展示会等の開催による肥料高騰対策の支援や、維持・運用コスト等に優れた農業機械、電動園芸工具の取り扱いにより、農家所得向上・農業者労働力の省力化に尽力しました。生活物資では、美容器具、補聴器等取扱い品目の充足や共同購入つみあげ運動、ジュエリー展、グルメ直行便等の推進を行いました。また健康ふれあい館の開催により満足度向上を図りました。

販売事業

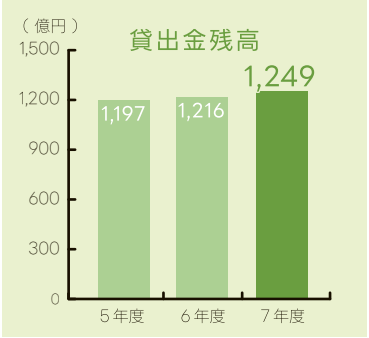
農家所得向上のため地場産米の買取りを行い、玄米販売や学校給食・福祉施設への提供を通じて地産地消に取り組みました。また農産物直売所「畑のつづき」でのイベントや農産物移動販売車により、地元農産物のPRを行いました。

介護福祉事業

隣接する農産物直売所「畑のつづき東大阪店」への歩行訓練や「あぐりん畑」での農産物栽培などを実施し、他事業所との差別化に努めました。また介護福祉総合センター2階で半日型のリハビリ特化型デイサービスを運営し、収益向上を図りました。

信用事業

相談業務を軸とした組合員・利用者基盤の強化を図りました。貯金については、夏期・冬期に加え、令和７年４月・５月にお米わくわくキャンペーン、令和８年２月・３月になつかしのちょきんぎょキャンペーンを展開し、PRを強化することによって、新規顧客獲得・取引拡大に努めました。貸出金については、小口ローンをきっかけとした複合取引拡大に注力しました。



共済事業

「ひと・いえ・くるま」の総合的な保障提案に加え、社会的ニーズの高まる生存保障、他社からの保障見直し活動により、保有契約者の維持に取り組みました。またシニア層への情報提供を通じた次世代との信頼関係構築・JAの利用促進に努めました。高齢者への契約推進にあたっては、親族に対する意向確認・把握の周知徹底を図りました。損害調査部門では定期的な内部研修会による初期対応力・相談対応力の強化に努めました。

貸借対照表

資産の部

（令和８年３月31日現在）
（単位：千円）

科目	金額
1．信用事業資産	649,916,674
(1) 現金	3,299,861
(2) 預金	482,095,129
(3) 有価証券	35,661,084
(4) 貸出金	124,962,669
(5) その他の信用事業資産	3,986,262
(6) 貸倒引当金	△ 88,333
2．共済事業資産	22,341
3．経済事業資産	154,157
4．雑資産	392,840
5．固定資産	9,213,814
(1) 有形固定資産	9,209,178
建物	6,445,564
機械装置	360,814
土地	6,840,567
建設仮勘定	9,262
その他の有形固定資産	1,832,874
減価償却累計額	△ 6,279,904
(2) 無形固定資産	4,636
6．外部出資	18,041,699
7．繰延税金資産	645,904
資産の部　合計	**678,387,432**

負債及び純資産の部

（令和８年３月31日現在）
（単位：千円）

科目	金額
1．信用事業負債	640,359,942
(1) 貯金	638,520,942
(2) 借入金	500,000
(3) その他の信用事業負債	1,273,678
(4) 睡眠貯金払戻引当金	65,321
2．共済事業負債	1,214,596
3．経済事業負債	59,693
4．雑負債	1,285,432
5．諸引当金	1,933,184
6．再評価に係る繰延税金負債	1,100,676
負債の部 合計	**645,953,527**
1．組合員資本	32,507,907
(1) 出資金	3,916,593
(2) 資本準備金	49,606
(3) 利益剰余金	28,563,545
利益準備金	7,844,481
その他利益剰余金	20,719,063
(4) 処分未済持分	△ 21,838
2．評価・換算差額等	△ 74,002
純資産の部　合計	**32,433,904**
負債及び純資産の部　合計	**678,387,432**

損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）
（単位：千円）

科目	金額
1．事業総利益	5,730,720
事業収益	8,025,313
事業費用	2,294,593
(1) 信用事業収益	6,080,971
(2) 信用事業費用	1,834,801
信用事業総利益	4,246,170
(3) 共済事業収益	1,403,841
(4) 共済事業費用	24,581
共済事業総利益	1,379,259
(5) 購買事業収益	324,397
(6) 購買事業費用	269,522
購買事業総利益	54,874
(7) 販売事業収益	88,515
(8) 販売事業費用	47,264
販売事業総利益	41,251
(9) 利用事業収益	32,409
(10) 利用事業費用	9,145
利用事業総利益	23,264
(11) 宅地等供給事業収益	3,054
宅地等供給事業総利益	3,054
(12) 介護福祉事業収益	76,086
(13) 介護福祉事業費用	6,143
介護福祉事業総利益	69,942
(14) 指導事業収入	16,038
(15) 指導事業支出	103,135
指導事業収支差額	△ 87,097
2．事業管理費	4,833,694
(1) 人件費	3,313,531
(2) 業務費	562,977
(3) 諸税負担金	203,209
(4) 施設費	729,650
(5) その他事業管理費	24,325
事業利益	**897,025**
3．事業外収益	385,501
4．事業外費用	42,075
経常利益	**1,240,451**
5．特別損失	45,807
税引前当期利益	**1,194,643**
法人税等合計	299,482
当期剰余金	**895,160**
当期首繰越剰余金	1,894,773
土地再評価差額金取崩額	498
当期末処分剰余金	**2,790,432**

令和７年度剰余金処分計算書

（単位：千円）

科目	金額
当期末処分剰余金	2,790,432
剰余金処分額	77,777
(1) 出資配当金	77,777
次期繰越剰余金	2,712,655

出資配当金は、年 2.0 パーセントの割合です。

自己改革工程表

当JAでは、令和7年6月開催の第23回通常総代会で決議した「JA大阪中河内自己改革工程表」に沿って自己改革を実践しています。

1. 農業者の所得増大・農業生産の拡大

1 直売所取扱高の増加

JA大阪中央会主催の夕市や各種イベントへの移動販売車出店により直売所のPRに努め、直売所取扱高・農家所得向上を図りました。



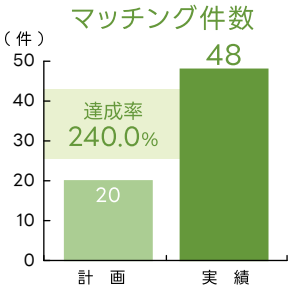
2 農業塾受講生受入

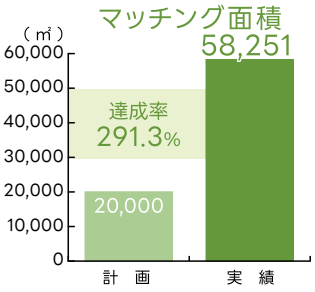
座学と実地を交えたカリキュラムにより生産技術の向上を図ることで、直売所出荷者の増加に取り組みました。



3 農地マッチング

農業従事者の高齢化による減少や耕作放棄地増加の解消に向けて農業塾塾生や意欲ある出荷者との農地マッチングに取り組みました。

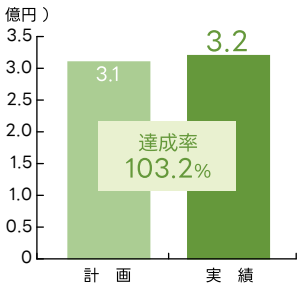




2. 経営基盤の確立・強化

1 営農経済事業の収支改善

LINE、インスタグラム等を活用した管内の特産品、イベントの積極的な情報発信による集客力強化に努め、直売所取扱高の増加に取り組みました。



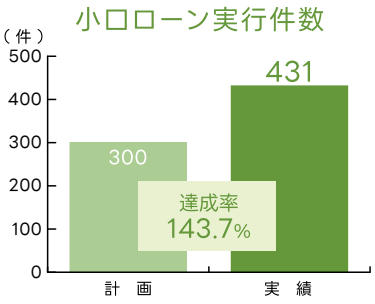
2 貸出金の増加

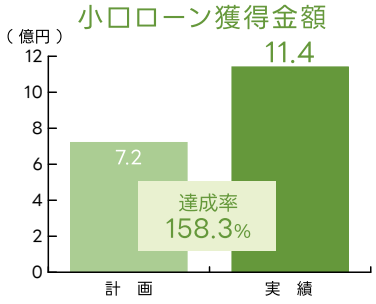
住宅ローン

三大疾病特約無料の強みと貯金連動型住宅ローンを活かし、支店担当者による地元不動産会社への定期的訪問により信頼関係の構築に努めました。

小口ローン

特別金利優遇キャンペーンを積極的にPRし、利用者のニーズに沿った提案・推進活動の実践により貸出金残高伸長に取り組みました。





3 年金振込口座の保有純増件数推移

年金受給者へのお誕生日プレゼント贈呈等のサービス提供に加え、口座引落、複合取引によるメイン化を図ることにより他行流出防止に努めました。



※チラシは令和8年3月31日（現在）の内容です。

3. 対話による意思反映

1 JAと組合員との対話

正組合員と准組合員が一体となったJA運営の実現に向け、座談会などを通じて多くの意見や要望をお伺いし、JA運営に反映するよう努めました。



2 JAと准組合員との対話

准組合員モニター制度

准組合員から意見交換会やアンケートを通じて多くの意見や要望をお伺いし、JA運営に反映するよう努めました。

准組合員の総代会出席

地域に住む農業以外に従事している准組合員の理解促進を深め、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を目指した取り組みを実践しました。

3 エンゲージメントの向上

エンゲージメント調査や面談等を通じて職場の実態を把握し、多様な職員が働きやすい、働きたいと感じる職場づくりに取り組みました。



令和8年度事業計画

今年度は、令和6年12月決議の「第26回JA大阪府大会」が掲げる「次代につなげる大阪農業と協同の力」を指針とし、「中期経営計画および自己改革工程表」の2年目として、諸施策をより具体的に展開します。職員の離職が進む中、集金業務から相談業務へと順次切り替える渉外体制の見直しを進めるとともに、役職員のエンゲージメント向上による組織風土や職場環境の改善を図り、組合員へのサービス向上を目指します。組合員や地域の皆さまの声を原点に据え、広報活動の充実を推進し、「協同活動と総合事業の好循環」をさらに加速させ、常に質の高いサービスの提供に努めます。

重　点　事　項

1. 持続可能な大阪農業の振興
2. 協同活動・JA事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現(組織基盤強化)
3. 活動と事業の好循環による価値提供を支える健全・強固な経営基盤の確立（経営基盤強化）
4. 協同組合らしい人づくり
5. 広報活動の強化によるJAの魅力発信

主要項目計画

種　類	計　画
貯金残高	639,521百万円
貸出金残高	125,963百万円
長期共済保有高	919,813百万円
購買品取扱高	525百万円

事　業　別　重　点　事　項

営農指導事業

【農業の担い手のニーズへの対応強化と都市農地の保全対策】
■TAC活動の強化■新規就農者、定年帰農者、既存農業者等への支援■農業塾等の実施■農作業の受託充実への対応■農家の労働力確保支援
【営農指導・提案力の強化】■営農指導員の育成・充実■所得向上に向けた周年栽培の指導■高温障害に強い品種の調査・研究■土壌分析結果による施肥コスト低減に向けた提案■担い手の立場に立った総合事業の提案による農業経営のサポート■積極的な農業融資による組合員の資金調達支援と農業経営のサポート■農業用機械レンタル事業による農機購入費用を抑えた農作業の合理化・効率化■病害虫防除、営農に役立つ情報発信■営農指導員と渉外担当者との情報交換
【行政と連携した都市農地の保全対策】■耕作困難や営農拡大等組合員情報の連携を図り、マッチングによる耕作放棄地の解消■実行組合、成年部等協力組織との連携によるイベントの開催

生活指導事業

■支店を中心とした女性会支部活動の活性化促進■「家の光」の普及活動による購読展開と記事等を活用した教育文化活動の促進■女性大学の継続展開による仲間づくりの取り組みと若年層への理解促進■JAまつり・イベント等による管内農産物の魅力発信と理解促進

購　買　事　業

■企画広報職員との連携による情報発信の強化■支店渉外担当者と連携した情報共有強化に向けた取り組み■商系業者からの直接仕入れ等も含めた生産コスト低減に向けた取り組み■TACと連携した提案型・訪問型推進の実施■肥料・農薬・生産資材の予約購買の実施■各種展示会の開催■共同購入つみあげ運動の実施■ニーズに合った生活物資の提案型推進の実施

利　用　事　業

■農業継続相談窓口の強化■農作業受委託事業の充実（小規模圃場の対応）■高温に強い水稲の品種(恋の予感、にこまる)の調査・研究

販　売　事　業

■農産物移動販売車による地域住民へのPR活動■地場産米の買取強化■直売所のポイントカードシステムの利用率向上■大阪府内農産物の安全安心・環境保全のための点検、HACCPの継続実施、農薬自動診断システムの運用による農産物検査体制の充実■農薬の適正使用研修会の開催・指導による安全・安心な農産物出荷■イベント開催による来客数と売上増加■花き・野菜の計画的な仕入れによる売上増加■キャッシュレス取引による利便性、割引等優位性による売上増加、若年齢層利用者へのPR

宅地等供給事業

■組合員の資産有効活用に対する系統施行の施主代行システムでの提案・サポート■チラシ等の作成・活用によるキャンペーンの周知

介護福祉事業

【訪問介護事業】■身体介護・生活支援サービスの質向上■キャリアアップに向けた支援
【通所介護事業】■自立支援推進による利用者満足度の向上■キャリアアップに向けた支援

信　用　事　業

■渉外・窓口トレーナーの伴走指導による人材育成■渉外体制の見直しによる相談業務を軸とした訪問活動への転換■組合員・利用者本位のマネーライフプラン提案実践の強化■貯金残高・貸出金残高の伸長による収益確保■組織的なPR活動による情報発信

共　済　事　業

■トレーナー活動による聴く力を軸とした提案型推進体制の構築■次世代層との接点構築に向け、ほっとバトン活動を展開■3Q訪問活動による全戸訪問を継続的に実施■イベントを通じて、繋がりのきっかけを増加させ、将来基盤の確立■契約者の理解度に合わせた加入内容説明の徹底■ペーパーレス・キャッシュレス化による共済事務の効率化と健全性の強化■高齢者対応時の意向把握を徹底し、コンプライアンス強化と次世代層とのつながり強化■事務インストラクターによる支店担当者への支援体制の強化

小学生が「八尾若ごぼう」収穫を体験



3月2日、地域の産業を学ぶ授業の一環として八尾市立南高安小学校で行われた八尾若ごぼうの収穫体験に協力しました。当日は同校の3年生100名が参加。八尾若ごぼうは昨年9月に種をまいて育ててきたもので、収穫した児童は「こんなに大きくなってうれしい」と笑顔で話しました。

「サクラ」の切り枝をJR八尾駅にPR展示



3月10日、八尾市花卉園芸組合連合会（神立花卉園芸組合・大窪花卉継承会・大窪花卉研究会）はJR八尾駅に「啓扇桜（けいおうざくら）」を展示しました。改札付近がサクラで華やかに彩られ、「八尾の花」を駅の利用者にPRしました。

令和7年度東大阪市農業関係表彰式開催



3月14日、東大阪市クリエイション・コア南館で令和7年度東大阪市農業関係表彰式が開催されました。同市内で農業を営む組合員で年2回の品評会に野菜を出展し入賞された方、また地域農業の発展に大きく貢献された方と農業団体が表彰されます。

当JA管内での受賞者、受賞団体は次の通りです。（敬称略）

【優良農業団体】西ノ辻実行組合・布市実行組合・近江堂実行組合【優良農業者】辻本俊宏・吉田忠重・村尾絹子【展示野菜・夏の部・大阪中河内農業協同組合長賞】今西貞子【展示野菜・秋冬の部・大阪中河内農業協同組合長賞】北田輝雄【全国農業協同組合連合会大阪府本部長賞】角田末子

「第7回八尾若ごぼう品評会＆八尾野菜販売会」開催









3月14日、八尾市農業啓発推進協議会（JA大阪中河内、JAグリーン大阪、八尾市、大阪府）はアリオ八尾で第7回八尾若ごぼう品評会を開催しました。生産者の栽培技術・生産意欲向上と、同市の特産品である八尾若ごぼうのPRを目的とするイベントで、市内の栽培農家14戸が丹精を込めて育てた若ごぼうが同施設1階のイベントスペース・レッドコートに展示されました。また、農産物の販売や収穫体験、八尾若ごぼうを使った料理の試食なども行われ、大盛況となりました。

品評会の入賞者は次の通りです。（受賞順・敬称略）

▽大阪府知事賞＝浅井博▽八尾市長賞＝大橋昭光▽八尾市農業委員会会長賞＝村田泰三▽大阪中河内農業協同組合組合長賞＝松岡孝明▽グリーン大阪農業協同組合組合長賞＝結城拓也▽八尾市農業啓発推進協議会会長賞＝辻野茂樹▽八尾市民大賞＝浅井博

掲載しているニュース&トピックスの一部は右記のQRコードから動画でご覧いただけます。

「難波葱」収穫体験イベントを初開催！





3月28日、当JA松原地区難波葱部会が松原市の圃場で特産品「難波葱」の収穫体験イベントを開催しました。このイベントは（一社）松原市観光協会が企画提案し松原市が協賛。地域住民に「難波葱」の魅力をPRするとともに、都市農業への理解を深めてもらう目的で実施する初めての取り組みです。当日は23組36名の親子などが参加し、最盛期を迎えて大きく育った難波葱の収穫を楽しみました。参加者は「貴重な経験ができて子どもたちも喜んでいるので、参加してよかったです」と笑顔で話しました。

「八尾若ごぼう」のPR販売を追加開催



3月18日、八尾市農業啓発推進協議会（JA大阪中河内、JAグリーン大阪、八尾市、大阪府）がJR八尾駅改札口付近で「八尾若ごぼう」のPR販売を行いました。2月19日に実施したPR販売が大好評だったことを受けての追加開催で、駅の利用者らは次々と八尾若ごぼうを買い求め、この日の予定数200袋が完売となりました。

令和8年度新入職員入組式



4月1日、本店2階大ホールで新入職員入組式を開催し、男性10人、女性17人の合計27人が新社会人のスタートを切りました。畑中組合長から辞令が手渡され、新入職員は緊張した面持ちで受け取りました。

松原地区年金友の会旅行開催





4月16日と17日、松原地区年金友の会（小山隆司会長）が会員を対象に日帰り旅行を開催しました。16日は恵我支店、松原支店、布忍支店、17日は天美支店、三宅支店の会員が参加。参加者の皆さんは兵庫県にある廣田神社を参拝し、有馬温泉「兵衛向陽閣」で昼食と温泉を堪能。その後めんたいパーク神戸三田で買い物を楽しみました。

花々の命に感謝を込めて 神立花卉園芸組合「花供養」

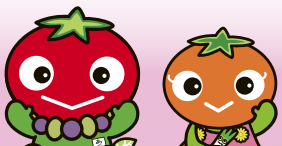


4月12日、神立花卉園芸組合は同地区特産の花卉を供養する「花供養」を行い、組合員、関係者ら27名が参列しました。参列者は花や木の命に感謝の念を抱き、花卉事業の振興を願って厳かに祈りを捧げました。

育苗作業スタート



4月23日より、松原営農センターを皮切りに令和8年度の育苗作業がスタートしました。今年の水稲苗の注文枚数は約11，000枚で、播種した籾は3日間出芽専用の温室で発芽させた後、床だし作業を行い硬化苗へと成長させて組合員へと手渡されました。



ニュース&トピックスを動画で配信中！

NEWS & TOPICS
ニュース＆トピックス

小学生が「八尾えだまめ」種まきを体験



4月24日、地域の産業を学ぶ授業の一環として八尾市立南高安小学校で行われた農業体験に協力しました。当日は同校の3年生99名が参加。児童たちは、地元の特産品である八尾えだまめについて当JAの営農指導員から特徴や栽培方法等の説明を受け、種まき作業を行いました。

露地ジベレリン処理適期講習会開催



4月28日から5月1日にかけて、柏原営農センターが各地区実行組合の組合員を対象に露地栽培のデラウェアを中心とする「柏原ぶどう」のジベレリン処理適期講習会を開きました。同センターの営農指導員が各地区の生育状況からジベレリン処理適期を予測。その後処理手順や処理後の管理方法等についての講習を行いました。

令和8年度事業推進大会開催



4月25日、本店2階大ホールで令和8年度事業推進大会を開催しました。開会の挨拶では畑中組合長が「地域社会に貢献し、信頼される組織になるため、職員一人ひとりが与えられた立場を理解して業務に携わってほしい」と語りました。

新入職員が農作業体験研修に参加



5月上旬から下旬にかけて、令和8年度の新入職員27人を対象に体験研修を行いました。今年度より男性職員、女性職員ともに営農総合センターと松原営農センターで種籾の播種や床だし作業を担当し、JA本来の事業基盤である営農経済事業への理解を深めました。

JA共済優績LA大阪府表彰



5月1日、優秀な成果を収めた大阪府下のLA（ライフアドバイザー）を表彰する「JA共済優績LA大阪府表彰」において、当JAの職員が表彰を受けました。JAでは、JA共済に関する高度で幅広い知識を持つLAが保障設計のお手伝いをさせていただいています。

新鮮野菜が大好評 東大阪市民ふれあい祭り



5月10日、東大阪市で開催された「第47回東大阪市民ふれあい祭り」に出店しました。当日は17品目・約650点の野菜や加工品を販売し、予定時刻より早く完売するなど、多くの来場者で賑わいました。また共済、定期貯金、年金受給の各キャンペーンもPRしました。

当JAオリジナル芋焼酎づくり開始！





5月21日、東大阪市の圃場でサツマイモ苗の植え付けを行いました。これは管内農地の有効活用や地産地消の推進を目的として、管内で栽培したサツマイモをもとに当JAオリジナルの芋焼酎を製造する取り組みの一環で実施。令和5年度まで東大阪市農業振興啓発協議会（JA大阪中河内、JAグリーン大阪、東大阪市、大阪府）が実施していたこの取り組みを、今年度より当JAが単独で実施することとなりました。

当日は営農経済部の職員9人が作業にあたり、サツマイモ苗1,000本を等間隔に植え付けました。サツマイモは9月に収穫し、酒造会社で加工。芋焼酎は来年6月に完成する予定です。

掲載しているニュース＆トピックスの一部は右記のQRコードから動画でご覧いただけます。



令和7年度

准組合員モニター制度 活動報告



イベントモニター

JAグループでは、
「正・准組合員の積極的なJA事業活動への参加」や
「JAと准組合員の結びつき強化」を目指し
自己改革に取り組んでいます。
その一環である「准組合員モニター制度」
について令和7年度の活動内容を報告します。



アンケートモニター

令和7年度 准組合員 イベントモニター 活動内容

活動内容を動画でチェック

第1回 令和7年4月18日(金)実施

モニターの方々へ委嘱状の授与を行いました。また当JAの概要や、協同組合の意義、組合員制度、大阪の農業の現状など、JAの仕組みと役割を説明しました。



第2回 令和7年7月17日(木)実施

特産品「八尾えだまめ」の収穫体験を行いました。その後の意見交換会では、営農経済事業や農産物移動販売車などに対するご意見をいただきました。



第3回 令和7年8月22日(金)実施

特産品である「柏原ぶどう」の収穫体験を行いました。また意見交換会では、JAの各事業に対して普段思っておられることやご要望などをお聞きしました。



第4回 令和7年10月17日(金)実施

直売所「畑のつづき」見学後、営農総合センターで肥料倉庫、精米倉庫、購買所を見学し、介護福祉事業について説明しました。



第5回 令和7年12月4日(木)実施

特産品「難波葱」の収穫体験を行いました。その後天美支店で、信用・共済事業や支店・担当者の業務内容などについて紹介し、支店内の見学を実施しました。



第6回 令和8年2月12日(木)実施

特産品「八尾若ごぼう」の収穫体験を実施。その後本店で1年間の振り返りとお客様満足度向上のためにどうすればいいかについてのアドバイスをお聞きしました。



令和7年度 准組合員イベントモニター ご意見・ご質問に対するJAからの回答

Q&A イベントモニター懇談会でいただいたご意見やご質問のうち、一部を抜粋してご紹介します。

営農経済事業について

Q 農業の経験はないのですが、今後どこかに移住し、自分で育てた野菜を食べて暮らしてみたいという小さな希望があるので、JAが農業未経験者の方へもアドバイスをくだされればうれしいです。

A 各地区の営農センターには営農担当者がおり、栽培指導を担当しています。基本的には農家の方への専門的なアドバイスを行っていますが、家庭菜園などをされている一般の方も気軽にお越しいただき、ご相談いただければと思います。広報誌はぐくみでも季節ごとの野菜の作り方などを掲載していますので、ご参考になればと思います。

介護福祉事業について

Q 先日近所の方が老人ホームに入所されたのですが、自由に外へ出られないので退所したいと話しておられました。その場合、あぐりんの家のデイサービスを利用することはできるのでしょうか。

A あぐりんの家では送迎時のお体への負担を考慮し、片道15分から20分までのエリア、当JAの支店では孔舎衙支店、石切支店、枚岡支店の周辺をご利用区域とさせていただいております。なお通常は担当のケアマネジャーさんが必要な対応を考えられるかと思いますので、一度ご相談されるとよろしいかと思います。

支店業務について

Q 年金の受取予約をすると粗品がもらえるということで出向いたところ、窓口担当者が商品に対して十分に説明できず、契約したいという気持ちに至りませんでした。もっと商品知識を身につけていただき、商品をアピールしていただければいいのではと思います。

A 現在も職員研修を実施してはいるものの、まだまだ皆様にご満足いただけるサービスを提供できていない状況のため、今後も人材育成、人材教育に一層力を入れていきたいと思います。

JAの取り組みについて

Q 日本の農業が衰退しており、食料を輸入に頼る状況に不安を感じていました。日本では地理的要因から大規模農業が難しいこともあり、農業者が減り続けています。そこで効率のよい農業の仕組みを実現し、農業を安定した収入が確保できる産業として確立できるように国をあげて取り組んでほしいです。

A 日本の食料自給率が40%を切る中、JAグループでは自国の農産物を自国で消費する「国消国産」を推奨しています。そこで皆様には「地域農業の応援団」として、お買い物の際にはぜひ国産、地元産の農産物を購入していただければと思います。当JAの直売所「畑のつづき」では地元で採れた新鮮な農産物を販売していますので、ぜひご利用ください。

イベントモニターの皆さまから
いただいた貴重なご意見・ご要望を
「実施報告書兼意見書」としてまとめ、
組合長に提出しました。
こちらを今後のJA運営に反映し、
JAが地域の皆さまになくてはならない存在で
あり続けるよう、役職員一丸となって
努力してまいります。



◀実施報告書兼意見書



意見交換会でいただいたご意見（抜粋）

自分が食べるものを作るのと、出荷する商品を作るのとの違いを改めて考えるきっかけになりました。

JA本来の事業として、農家の方々を支援されていることが心強いです。農家以外の方にも、農業の重要性や楽しさを伝える活動をしていただきたいです。

JAならではの組織である実行組合や女性会の取り組みなど、これからも地域のつながりを大切にしていただきたいと思います。

一人ひとりへのきめ細かな対応やサポートをこれからも続けていただければありがたいです。

令和7年度 准組合員アンケートモニター実施結果

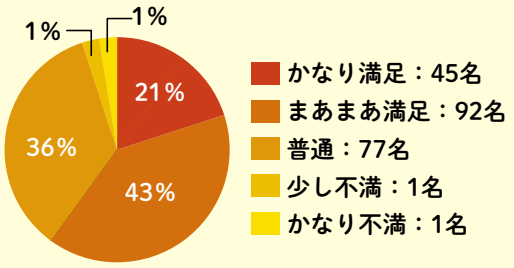
5月と10月に実施した准組合員アンケートモニターの結果について、
一部を抜粋し以下にまとめています。

第1回 実施期間：令和7年5月19日～6月13日 回答数▶233名 / 250名▶回収率：93.2%

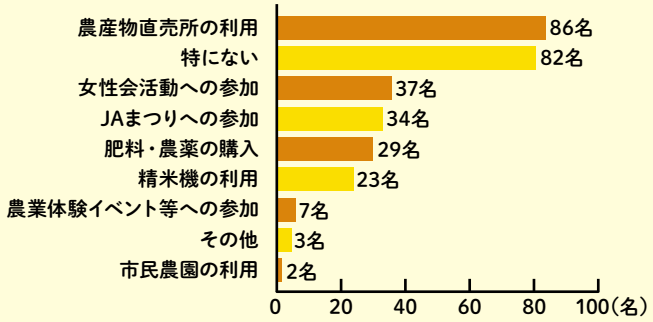
JAが他の金融機関より優れている点として、地域密着型のサービスに対する評価の声をいただきました。一方で他金融機関については利便性や商品力を評価する声があがりました。信用事業については、金利の上昇、商品の充実、きめ細かなサービスの継続を望む声をいただきました。共済事業については、対応力への評価の声をいただいた一方、「助け合いの観点から掛金は安く手厚い保障のものを考えてほしい」などといった声もあがりました。

准組合員と営農経済事業との接点は“農産物直売所「畑のつづき」の利用”が最も多かった半面、農産物移動販売車を利用すると答えた方は19%にとどまりました。畑のつづきや移動販売車に今後期待することとしては、営業時間の拡大や品揃えの充実を望む声を多くいただきました。今後の営農分野については、米をはじめとする農産物の販売強化や、不耕作農地の貸し出し・有効活用を期待する声も多くいただきました。

●JAの事業に対して総合的にどのくらい満足していますか？



●准組合員の皆様にとってJAの営農分野（食と農業）との関わりはどのようなところにありますか？（複数回答可）

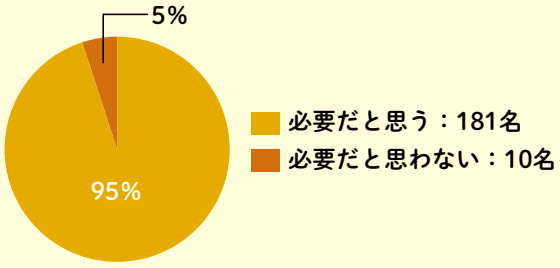


第2回 実施期間：令和7年10月14日～11月5日 回答数▶221名 / 250名▶回収率：88.4%

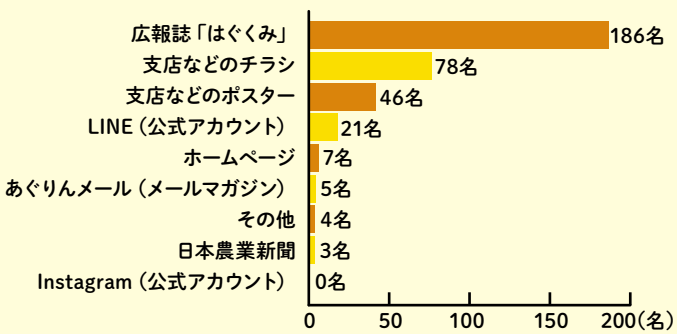
JAの事業や活動については、95%の方が「必要」と評価してくださいました。JAの事業を知る手段については広報誌「はぐくみ」が最も多かった一方、当JAのLINEを登録いただいている方は17%、Instagramの公式アカウントを登録いただいている方は4%に留まり、認知度向上・利用者増の強化が必要であることがわかりました。広報活動全体については、米をはじめとする農産物の販売情報や、キャンペーン、年金、投資信託、地域に関する情報の発信を求める声が多く聞かれました。

今後のJAに期待することや支店への要望をお聞きしたところ、今まで通り地域に根差した親切なサービスを続けてほしいといった意見を多くいただく一方、職員の対応力の向上を望む声もあがり、顧客満足度アップと地域密着に向けたサービスに一層取り組む必要があることがわかりました。また、地域の農産物の販売促進や地域農業の振興、金利アップ、介護福祉事業の拡大を望む声もいただきました。

●当JAの事業や活動はあなたにとって必要ですか？



●JAの行っている様々な事業や活動、農産物の情報について、どの媒体から情報を得ていますか。



今回のテーマ

\基礎から学ぶ/ 野菜作り教室

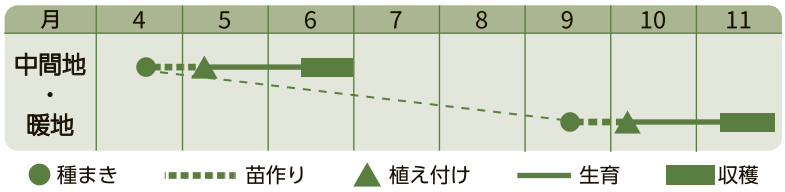
コリアンダー（パクチー）

エスニックな香りと味を楽しむ



コリアンダーは地中海原産のセリ科野菜で、独特の強い香りがあり、肉料理の添え物や炒め物に使います。成熟した種子は香味料になります。

栽培カレンダー



畑の準備

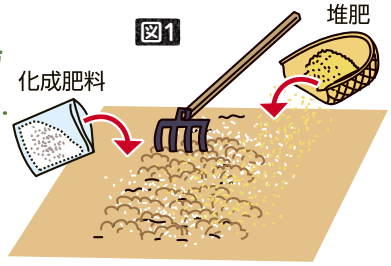
事前に①苦土石灰を散布して耕しておきます 図1。その後②堆肥と化成肥料を施し、土とよく混合し、幅90cmのベッド（栽培床）を作ります。

①苦土石灰
苦土入りセルカ2号
200g/㎡

②化成肥料
大阪中河内1号
(N•P•K=9•6•8)
110g/㎡

堆肥
2kg/㎡

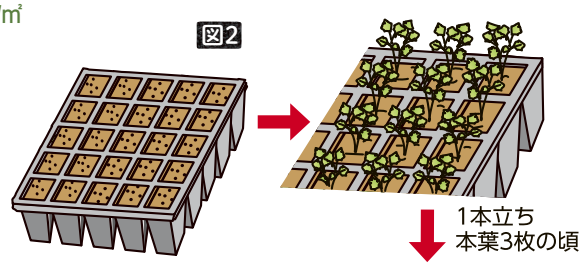
図1



種まき

ペンチなどを使い、種を軽く押して割れ目を入れ、一晩水に浸すと発芽が早まります。小型の連結ポットや7.5〜9cmポットに4、5粒まき、5mm程度に浅く覆土します。一つの殻に二つの種が入っているため、通常1粒から2株発芽しますが、その後間引いて本葉4、5枚の1株立ちの苗に仕上げます 図2。
間引きの際は残す株を傷めないように根元をはさみで切り取ります。

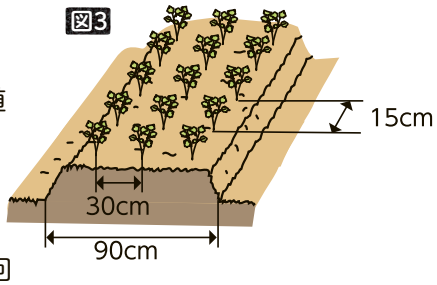
図2



植え付け

条間30cmの溝を3条に切り、苗を約15cm間隔で植え付けます 図3。

図3




植え付け苗
本葉4、5枚の頃

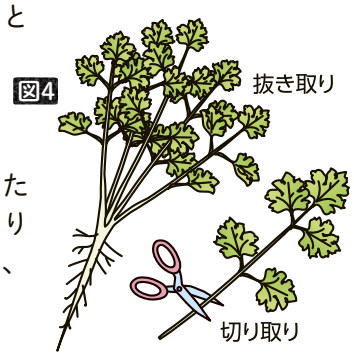
灌水（かんすい）

水分を多く必要とするため、土が乾いたら少量を回数多く灌水します。夏の暑さ対策として遮光するとよく育ちます。

収　穫

草丈が30〜40cm、葉数が10〜15枚くらいになったら、抜き取って収穫ができますが、下葉を順次切り取るのも良いでしょう 図4。花茎が伸びてきたら、常に摘み取ってください。

図4



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

病害虫の防除

アブラムシや
ハダニに注意して
ください。

JA 広報通信「あなたもチャレンジ！　家庭菜園」を引用　園芸研究家・成松次郎

NEWS

今年度より、不要となった中古農業機械の売り手と買い手をつなぐ「中古農業機械紹介事業」がスタートします！詳細は9月号でお知らせします。

＼社会保険労務士・後藤田慶子の／

年金よろず相談室





今回のテーマ

令和8年度年金情報



オフィス後藤田　後藤田慶子先生

大阪生まれの大阪育ち。「女性ももっと社会に役立ちたい」をモットーに、各ＪＡでの年金セミナーや年金相談会など多方面で活躍中

1 年金額の改定

※年金額は、法定額に毎年度定められる改定率をかけて計算されます。改定率には、物価変動率・名目手取り賃金変動率・マクロ経済スライドが使用されます。

令和８年４月分より年金額が改訂されました。

老齢基礎年金　前年度より原則 1.9% の引き上げとなります。

70 歳以下	満額847,300円（月額70,608円）
71 歳以上	満額844,900円（月額70,408円）

老齢厚生年金　前年度より原則 2.0% の引き上げとなります。

例 前年度の老齢厚生年金が 120 万円の場合
120万×1.02≒122万4,000円（年額）

配偶者加給年金　令和７年度 415,900円（年額）➡ 令和８年度 423,700円（年額）

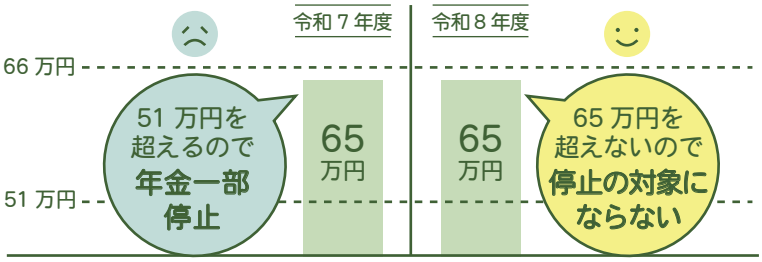
2 在職老齢年金の支給停止調整額引き上げ

60 歳からの在職老齢年金の調整額が 51 万円から 65 万円に引き上げになりました。

例



老齢厚生年金の報酬比例部分の月額… 13 万円
総報酬月額相当額…… 52 万円
合計…… 65 万円
の方の場合



在職老齢年金とは、厚生年金保険に加入した場合や、70 歳以上の方が厚生年金保険の適用事業所にお勤めになった場合に、老齢厚生年金と給与、賞与額（総報酬月額相当額）に応じて、年金の一部または全額が支給停止する仕組みです。

3 国民年金保険料改定

国民年金の保険料が変更になりました。

令和７年度 17,510円（月額）
↓ 410円増加
令和８年度 17,920円（月額）

国民年金の未納期間がある人や国民年金の受給資格を満たしていない人でも、国民年金に任意加入できる制度もあります（年齢要件あり）。



社会保険料のワンポイント　**令和８年４月から「子ども・子育て支援金」がスタートしました**

公的医療保険に加入している被保険者が支援金を負担します。支援金の負担者には、会社員・公務員だけでなく、国民健康保険や後期高齢者医療の対象者も含まれます。

令和8年度　各協力組織役員のご紹介

今年度、各協力組織の役員に就任された皆さまをご紹介します。よろしくお願いいたします。

実行組合長連絡協議会


会長
山口 勇治氏


副会長
山道 章義氏


副会長
杉本 育士氏


会計
正野 裕久氏


会計監査
朝田 佳秀氏

成年部本部役員会


会長
加藤 康純氏


副会長
中村 洋治氏


副会長
田中 数雄氏


会計
松本 充章氏


会計監査
北田 茂氏

女性会本部役員会


会長
松井 寿子氏


副会長
三浦 良子氏


副会長
前園 恭子氏


会計
中谷 津多子氏


会計監査
出口 とし江氏

特殊詐欺被害防止に向けた
ATMご利用限度額変更のお知らせ

警察庁からの要請を踏まえ、2026年7月1日水よりキャッシュカードなどによる取引時の1日あたりのご利用限度額を以下の通り引き下げました。

媒体種別	対象取引※1	変更前	変更後
ICキャッシュカード	IC取引	100万円	**50万円**※2
磁気ストライプ キャッシュカード	磁気取引	50万円	50万円



※1 ATMでのお引出し、お振込等が対象となります。
※2 あらかじめ設定されているご利用限度額から変更されている場合は変更対象外となります。

お客さまにはご不便をおかけしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

地域貢献活動 社会貢献活動

園児を対象にジャガイモ掘りを実施

志紀支部成年部会



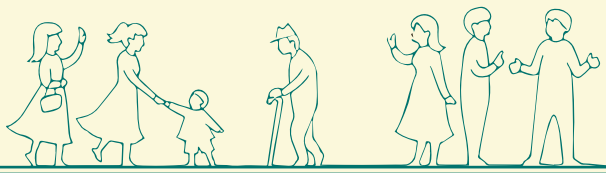
12月16日、志紀支部成年部会が社会福祉法人若竹福祉会認定こども園「志紀保育園」の園児43名を対象に、八尾市内の圃場でジャガイモの収穫体験を実施しました。

福祉施設の小学生を対象に収穫体験

南高安支部成年部会



3月7日、南高安支部成年部会が八尾市内の圃場で社会福祉法人八尾隣保館「ルフレ八尾」の小学生19名を対象に八尾若ごぼうの収穫体験を行いました。



福祉施設に八尾若ごぼうを進呈

曙川支部成年部会



3月12日、曙川支部成年部会が組合員の圃場で収穫された八尾若ごぼうを社会福祉法人医真福祉会「やまなみ」（ケアハウス・デイサービス・介護サービス）へ進呈しました。

特殊詐欺防止の啓発活動を実施

堅上支店



4月30日、堅上支店が特殊詐欺の防止を啓発するパンフレットやチラシを地域の組合員に配布しました。配布活動にあたっては女性会堅上支部の会員も協力しました。

自転車の交通反則通告制度講習会開催

大蓮出張所



5月1日、大蓮出張所と女性会大蓮支部が2026年より自転車に適用された交通反則通告制度についての講習会を開催しました。

イベントカレンダー

税 税務相談（開催場所 支店名）
13時～16時

イ イベント

法 法律相談 ※要予約
13時～16時
※税務・法律相談ともご相談は予約順となっております。最寄りの店舗または業務部資産相談グループまでお電話ください。

セ セカンドライフ応援相談会※要予約
午前の部…10時～12時
午後の部…14時～16時
※年金に関するお問い合わせは、業務部業務グループ（☎072-924-6647）または各支店窓口・渉外担当者まで！

移 移動販売車（開催場所）
10時～12時　雨天決行

各日程は予定となります。都合により変更・中止の場合がございますので、あらかじめご了承ください。

8 August 2026

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 移 萱振支店	4 移 本店/山本支店	5 移 高安支店	6 移 曙川支店/玉手出張所	7 移 大正支店	8	9
10 移 志紀支店	11 山の日	12 税 松原地区(恵我・布忍) 長瀬地区(ながせ) 移 堅上支店	13 税 本店 法 松原支店 移 国分支店/松原市役所正面玄関	14 移 布忍支店	15	16
17 法 ながせ支店 移 三宅支店	18 税 東大阪地区(枚岡) 法 本店 移 八尾西部購買所/石切支店	19 税 八尾地区(萱振・南高安・龍華 久宝寺・高安・志紀) 移 枚岡支店	20 移 弥刀支店/八尾市役所旧八尾図書館跡地	21 移 孔舎衙支店	22	
24 移 大蓮出張所	25 移 国分支店	26 税 柏原地区(柏原・堅上) 移 三宅支店	27 移 枚岡支店	28 移 弥刀支店		
31 移 柏原市役所駐車場						



支店駐車場にて野菜販売の様子

9 September 2026

月	火	水	木	金	土	日
	1 移 本店/山本支店	2 移 高安支店	3 移 曙川支店/玉手出張所	4 移 大正支店	5	6
7 移 萱振支店	8 法 本店 移 柏原支店/衣摺営農センター	9 税 松原地区(松原・天美・三宅) 長瀬地区(ながせ) 移 堅上支店	10 税 本店 法 石切支店 移 国分支店/松原市役所正面玄関	11 移 布忍支店	12	13
14 移 志紀支店	15 税 東大阪地区(石切・孔舎衙) 移 八尾西部購買所/石切支店					

※15日以降の日程は9月上旬発行予定の9月号に掲載させていただきます。

理事会だより

議案

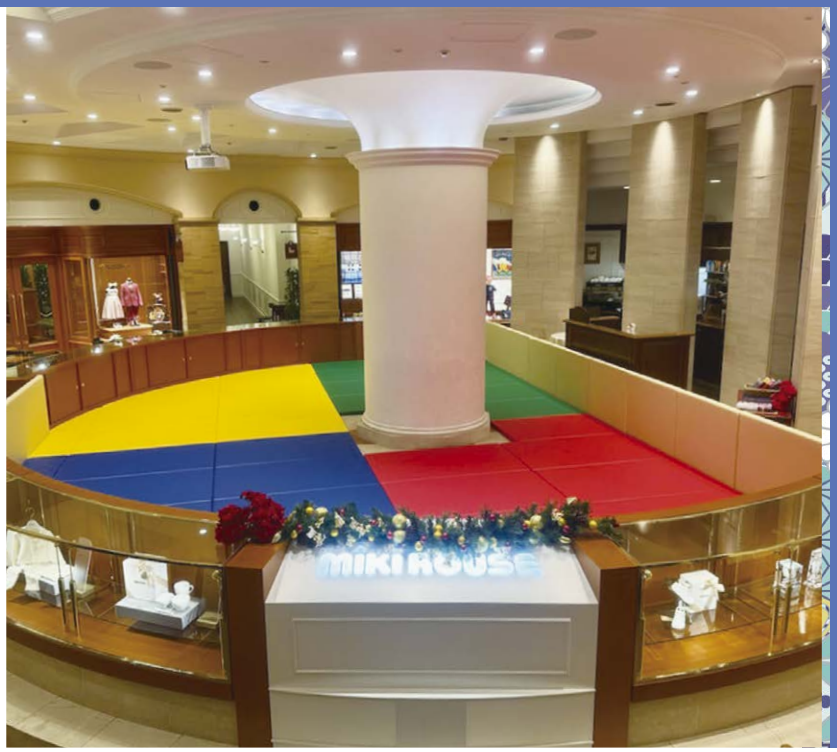
【令和8年3月30日】
- ○令和8年度損益計画の件
- ○税効果会計5ヵ年利益計画の件
- ○減損会計に関する当組合の適用方針および結果の件
- ○資産除去債務等に関する当組合の適用方針の件
- ○職員給与規程の一部改正の件
- ○育児・介護休業規程（介護福祉事業）の件
- ○就業規則（介護福祉事業）の一部改正の件
- ○パートタイム等就業規則（介護福祉事業）の件
- ○大阪府常例検査回答の件
- ○マネー・ローンダリング等への対応に関する規程の一部改正の件
- ○令和8年度コンプライアンス・プログラム実施計画の件
- ○夜間金庫使用規程の廃止の件
- ○令和8年度余裕金運用方針・計画の件
- ○融資事項に該当しない貸出金の取扱いの件
- ○地方公共団体に対する貸出金の入札結果の件

【令和8年4月30日】
- ○令和7年度比較損益計算書の件
- ○第24回通常総代会の日程の件
- ○第24回通常総代会の目的事項の件
- ○剰余金の処分の件【総代会提出議案1】
- ○理事及び監事報酬決定の件【総代会提出議案3】
- ○令和8年度会計監査人に関する監査報酬の件
- ○旧南高安北支店用地（八尾市教興寺）入札結果の件
- ○要請検査回答の件

【令和8年5月29日】
- ○第24回通常総代会招集通知および議決権行使書等の件
- ○第24回通常総代会資料の件
- ○令和8年度借入金の最高限度の件
- ○令和8年度貸付金利率の最高限度の件
- ○令和8年度信用供与等の最高限度額の件
- ○地方公共団体に対する貸出金入札の件

【令和8年6月25日】
- ○業務報告書（行政提出版）の件
- ○役員賠償責任保険への加入の件

【令和8年6月27日】
- ○理事の報酬決定の件





LABOで開催されているベビー&ママヨガ



子どものために考え抜かれたベビーシューズ

ミキハウスLABO —八尾市

”子どもと家族の毎日を笑顔でいっぱいに“ ミキハウスの新しい子育て体験空間

中河内地域には世界規模で事業を展開している会社があります。その一つである「ミキハウス」は、1971年の創業以来グローバルに展開しながら事業拡大を続けてきました。今回は、そのミキハウスが昨年オープンした子育て体験空間「ミキハウスLABO」についてご紹介します。

ミキハウスでは、「子どものためにできることを全部したい」という想いのもと、幅広い事業を展開。基幹となるアパレル事業では、子どものことを第一に考えたものづくりが徹底されています。それを象徴する商品の一つ「ベビーシューズ」は、「プレ」「ファースト」「セカンド」と、子どもの成長に合わせて3段階を設定。例えばファーストシューズはまだ歩き始めの頃に履くことを想定し、足指を使った自然で正しい歩き方を促すために、指をのびのび動かせる足なり設計や、かかとを支える「しっかりカウンター」など、足の成長を妨げない工夫が各所に凝らされています。また素材と縫製にこだわった高品質の商品づくりを追及。着心地はもちろん、丈夫なつくりは、「世代を超えて長く使ってほしい」という想いも込められたもの。自分が子どもの時に着ていたミキハウスの服を自分の子どもに着せてあげている人も多く、それが可能なのも高い品質によるものです。

そのミキハウスの本社内に設けられているのが「ミキハウスLABO」です。LABOには2つの役割があります。まず一つはショールームとしての役割で、ミキハウスが展開する全ブランドの商品が揃い、世界一の品揃えを誇ります。来館はWEB予約制で、専門スタッフがカウンセリングをしながら最適な商品を提案してくれます。そしてもう一つは子育てコミュニティとしての役割です。LABOでは安心して子育てができるためのさまざまな体験メニューが実施されています。「プレパパ・プレママセミナー」は、初めて子どもが生まれるパパ、ママを対象に、沐浴の仕方や肌着の着せ方などが体験できるセミナー。子育て情報が溢れる昨今、何を信じていいのかがわからない、そもそも何がわからないかもわからない、という不安を解消し、子どもが生まれるという喜ばしいことを安心して迎えてほしいという想いで実施されています。また、新しく孫ができる方を対象とした「お孫さんセミナー」も開催されています。他にも、赤ちゃんの発達を促すとともにママの産後の体調を整える「ベビー&ママヨガ」、季節にあったお話を親子で楽しむ「えほんの読み聞かせ会」なども開催。セミナーはWEB予約制・5組限定の少人数制でスタッフが丁寧に寄り添い、子育て世代同士の交流も生まれます。

「親が子どものためを想う気持ちを大切にしたい」。その信念が込められたこのLABOに、皆さんもぜひ足を運んでみてください。



LABOはミキハウス本社内に



LABOにはミキハウス全ブランドの商品が揃う



［営業時間］10:00～17:00（完全予約制）［定休日］水曜・日曜（第1・第3日曜は営業）・祝日
［LABOお問合せ電話番号］072-920-2055　LABO予約サイトはこちら▶

はくくみ 2026年7月号

JA大阪中河内

KASHIWARA GRAPE

9月下旬まで

あなたはダレ推し？


デラウェア


シャインマスカット


ピオーネ


マスカット・ベリーA

お求めは当JA農産物直売所「畑のつづき」各店へ！

JA大阪中河内 https://www.ja-osaka-nakakawachi.or.jp/

本店	☎072-996-1717	曙川支店	☎072-922-1167	松原支店	☎072-332-8008	大蓮出張所	☎06-6727-0115
萱振支店	☎072-923-4021	大正支店	☎072-949-5201	天美支店	☎072-332-8110	長瀬駅前支店	☎06-6723-0051
山本支店	☎072-923-4088	志紀支店	☎072-949-5371	布忍支店	☎072-332-1011	営農総合センター	☎072-943-2832
八尾駅前支店	☎072-992-2525	堅下支店	☎072-971-0285	三宅支店	☎072-332-8001	松原営農センター	☎072-331-1881
南高安支店	☎072-943-6321	柏原支店	☎072-972-0276	石切支店	☎072-981-5881	八尾西部営農購買所	☎072-923-4451
龍華久宝寺支店	☎072-923-4445	堅上支店	☎072-979-0321	枚岡支店	☎072-982-3333	柏原営農センター	☎072-971-8308
龍華出張所	☎072-923-4378	国分支店	☎072-978-6081	孔舎衙支店	☎072-981-1121	孔舎衙営農センター	☎072-984-7728
高安支店	☎072-941-8028	玉手出張所	☎072-977-5801	ながせ支店	☎06-6728-0666	衣摺営農センター	☎06-6728-0663
北高安支店	☎072-941-8027	恵我支店	☎072-332-8080	弥刀支店	☎06-6722-4151	介護福祉総合センター	☎072-929-9511

〒581-0019 八尾市南小阪合町2-2-2 （電話）072-996-1717
発行者／大阪中河内農業協同組合 代表理事組合長 畑中正史